

<はじめに>

昨年度は「神奈川子ども未来ファンド」が2003年に設立されてから10周年をむかえることができました。皆様の日頃からのご支援を心からお礼申し上げます。そこで、三つの記念事業を行いました。第一に県内各地を回る「朗読劇『ハッピーバースデー』公演事業」、第二に「10周年記念誌の発行」、第三に「『いじめSOS!!』のシンポジウムを兼ねた助成贈呈式」を挙行することができました。

助成金はこの11年間（03～13年度）で、延べ87件（実件数47件）、3,274万円を支出いたしました（1件辞退）。寄付額は企業、団体、個人（子ども応援会費等含む）併せて、4,600万円余りとなっています。助成においては、他では多くは見られない運営費の助成、しかも約半数が2年から3年にわたる継続助成をしており、現場を持つNPO等には実に役に立つ資金であったとの評価を頂いております。

一方、ファンドの「台所事情」は大変厳しい状況に置かれています。設立初年度は110万円であった寄付額は着実に増加し、朗読劇事業を開始した2007年には690万円を記録しました。しかし、翌年のリーマンショック以降、400万円台に減少し、東日本大震災以降は300万円台に低迷しています。今後の10年間を考えるまでもなく、安定性に欠ける状態になっています。公的な援助を全く受けない純粹の「市民ファンド」の財政基盤の脆弱さを直撃された形となっています。

この状況の中、2013年度は「特別会計規則」に定める助成財源への寄付総額の75%繰り出しが出来ない運営状況に陥ってしまいました。こうした傾向は2010年度より如実になってはきつつありましたが対処に決め手を欠いていたと言わざるを得ません。

そのため、2014年度以降は役員、事務局が一丸となって人件費を含む運営費の確保はもちろん、安定したファンド（資金）の確保に努めなければならないと改めて決意いたしました。

リーマンショック、東日本大震災などの社会経済的変動に加えて、この数年来の赤字状態にもかかわらず、組織全体の事業の見直し、収入と支出の時系列の流れの分析などを十分に行って来ていない等の反省にたち、この数カ月にわたり理事会では、この10年間の時系列の収入支出について検討を重ねて参りました。その結果、早急に取り組む課題は「財政立て直し」であると認識しております。そして、理事長の下、次の取り組みを行うことを理事会で確認いたしました。

- ① 理事の業務執行への積極的参画。
すべての理事が担当業務を持ち、責任を持って遂行する。
- ② 事務局体制の強化。
2年間不在であった常勤事務局員を置き、事務局運営の強化を図る。
- ③ 支援者、寄付者、会員に理事会、事務局の「顔が見える」組織運営を行う。
支援者、寄付者、会員との関係をより強くするとともに、新たな寄付者の開拓および会員増強に努める。

具体的には<第2号議案>2014年度事業計画（案）に記載しましたが、会員の皆様のご理解とご支援を改めてお願い申し上げます。

<第1号議案>

2013年度活動報告書
(2013年4月1日～2014年3月31日)

<2013年度事業の取組の概要>

1. 法人設立10周年記念事業

- (1) 設立10周年記念誌「あなたの思い 届け続けて10年に」を発行しました。
- (2) 10周年記念事業「いじめ SOS!!」を助成贈呈式・報告会と併せて実施しました。
参加者数 250名
- (3) 朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演2013横浜を開催しました。
観客数 1,102名 運営ボランティア 89名

2. 会員募集

正会員 90名、準会員 36名、子ども応援会員91名・組織（自動払込会員43名含）
(2014年3月末現在)

3. 寄付の募集事業

2013年度寄付金総額 3,825,850円
10周年記念事業の席上、寄付者へ感謝状を贈呈しました。

4. NPO 助成事業

4-1 神奈川県子ども未来ファンド助成事業の実施

- (1) 2013年度助成贈呈式・報告会の開催
2013年5月25日・10周年記念事業として開催
- (2) 2013年助成対象団体への技術支援件数は0件でした。
- (3) 助成対象団体活動訪問
- (4) 2014年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催
- (5) 2014年助成対象団体の選考と助成

4-2 2014年助成対象団体の選考と助成

41団体から応募があり、助成選考委員会の選考に基づき、10団体、助成総額2,875,600円の助成を行いました。一般助成・震災支援助成に併せ、設立10周年を期して「いじめ・児童虐待防止助成」を新設し助成しました。

5. 啓発事業

講演会や委員会への参加・協力等

6. ネットワーク事業

市民ファンド推進連絡会への参加・協力等

7. 調査研究事業

今年度は、体制が整わず実施しませんでした。

8. 広報事業

- (1) 東日本大震災の避難者へ県内の子ども・若者支援、子育て支援 NPO の支援情報収集と発信
- (2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、フェイスブック等による情報発信
- (3) 英文 WEB ページの作成、WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

- (4) 広域への情報発信・PR活動
- (5) NPOの情報発信支援
(テレビ等での広報3件、新聞タウン誌等報道21件、イベント等参加11件)

9. 組織運営

- (1) 通常総会(1回)、理事会(8回)、運営委員会(12回)の開催
- (2) 若者によるイベントチームの活動
- (3) 若者の社会体験ボランティアの受入れ

<2013年度事業>

1. 法人設立10周年記念事業

2003年4月にNPO法人として発足し本年度設立10周年を迎えたことを記念し、これまでご支援いただいた市民・企業・行政等に感謝するとともに、神奈川子ども未来ファンドの活動の主旨を広くアピールするために、下記の記念事業を実施しました。

【設立10周年記念誌「あなたの思い 届け続けて10年に」発行】

- ① ダイジェスト版 10頁立て 発行部数 100部 5月25日発行
- ② 10周年記念誌 33頁立て 発行部数 1000部 11月30日発行

【設立10周年記念事業「いじめSOS!!」】

日時：2013年5月25日(土) 13:00～16:00

場所：横浜市社会福祉センターホール

主催：NPO法人神奈川子ども未来ファンド

協賛：連合神奈川 中央労働金庫 (社)日本損害保険代理業協会
パルシステム神奈川ゆめコープ

後援：神奈川県 横浜市こども青少年局 横浜市教育委員会 川崎市 相模原市
横須賀市 神奈川新聞社 毎日新聞横浜支局 朝日新聞横浜総局 日本経済
新聞社横浜支局 読売新聞東京本社横浜支局 東京新聞横浜支局 産経新聞
社横浜総局 tvk(テレビ神奈川)

内容：第1部 2013年贈呈式

第2部 シンポジウム いじめSOS!!

進行/西野博之、パネリスト/氏岡真弓氏(朝日新聞社編集委員)

小森美登里氏(NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)/

篠原宏明氏(NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)

第3部 N. U. ミニコンサート Song for Smile

【朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演2013横浜】

□開催概要

公演日時：2013年11月30日(土) 2回公演(昼13時～、夕17時～)

会場：横浜市市民文化会館関内ホール(1,102名定員) チケット:3,000円(全席指定)

主催：朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演2013横浜実行委員会、(特)神奈川子ども未来ファンド、(有)オフィス・デュオ、横浜市市民文化会館関内ホール

出演：田原アルノ、野村道子、はやみけい、斎賀みつき、甲斐田裕子、稲川英里 他

演出：二瓶紀六 制作：有限会社オフィス・デュオ

原作：『ハッピーバースデー』(青木和雄・吉富多美共著 金の星社刊)

* 初演以来、じいちゃん役を務められた内海賢二さん(2013年6月ご逝去)を偲び、「内海賢二さん追悼公演」のサブタイトルを企画途中で付加しました。

□観客動員／ボランティアスタッフ

総動員数:1,102名(昼524名/夕578名 親子招待152名 特別招待等172名 計324名含)

小・中学生の親子の他に、設立10周年記念事業として、視覚障がい者や児童相談所の子どもたちを始め、当ファンドの活動にご尽力いただいた方々への招待を実施しました。広報については、横浜市立小中学校へのポスター、案内チラシ配布のほか多くのメディアを通じて呼びかけました。また関係各機関や市民団体等への協力要請も行い、多くの方々の協力を得て招待が実現しました。

運営ボランティア:89名

□募金総額:465,483円(事業収益金59,097円、会場募金300,466円、書籍チャリティ販売収益105,920円)

※詳細は巻末に掲載します(10から11ページ)

2. 会員の募集

運営基盤の安定化を図り、会員の拡大に努め新規会員の増加がありました。しかし、更新手続き不備の会員も多く、結果的に増加には至りませんでした。

【2014年3月31日時点の会員数】

正会員 90名 (前年度82名)
 準会員 36名 (前年度101名)
 子ども応援会員 91名・組織 (前年度167名 自動払込会員43名含)

3. 寄付の募集・受け入れ

(1) 2013年度の寄付受入れに関する各種協力

企業、業界団体からのご寄付のうち、特に職域での親睦会時の募金や歳末募金を頂戴しました。また、「横浜 Wai! Wai! フェスタ」や「ヨコハマ・アコースティック・フェスティバル」などのイベントで募金活動をしました。

(2) 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

◆一般寄付金総額 : 3,517,250円 (前年比 219,147円)
 ◆ファンド支援寄付金総額 : 308,593円 (前年比 269,211円)
 ◆協賛金総額 : 2,346,686円 (前年比 △942,014円)
 ◆寄付協力組織数 : 延40企業・団体等
 ◆協力個人数 : 延77名

【一般寄付金の内訳】

補助科目	金額 (円)	割合 (%)	協力 個人数	協力 組織数
企業からの寄付	1,274,277	36.2		9
個人寄付	365,683	10.4	22	
奉仕組織・NPO等からの寄付	520,827	14.8		11
歳末寄付	39,000	1.1	6	
ゆうちょ銀行口座からの自動払込寄付	229,800	6.5	43	
職域での募金、チャリティプログラム	289,035	8.2		4
オンライン寄付(クレジットカード・ネット銀行)	223,000	6.3		
応援商品寄付	34,981	1.0		
募金箱	354,458	10.1		14
イベント等	186,196	5.4		2
合 計	3,517,250	100.0	71	40

4. NPO への助成・技術支援

4-1 神奈川子ども未来ファンド助成事業の実施

(1) 2013年助成贈呈式・報告会の開催

助成対象になった事業の紹介と、終了した助成事業の成果を広く広報することを目的に実施しました。

【2013年助成贈呈式・報告会】

開催日程：2013年5月25日開催（土）13時～16時

会場：横浜市社会福祉センターホール

内容：2013年助成対象団体紹介・贈呈式、2012年助成活動報告

(2) 2013年助成対象団体への技術支援

助成金を効果的に活用してもらうことを目的に、団体の希望に応じて、専門家とファンド事務局が団体を訪問し相談に応じます。しかし、2013年助成対象団体で、個別に技術支援を希望した団体はありませんでした。

(3) 助成対象団体活動訪問

助成対象11団体の理念や活動を広く社会に伝えること、寄付者と助成団体をつなげることなどを目的とした助成対象団体の活動訪問会や訪問取材をしました。

(4) 2014年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催

各方面の専門家による助成選考委員会を設置し、助成公募を県内 NPO へ広報、生き生き市民ファンドと合同で助成説明会をもちました。2014年助成では「一般助成」「震災支援助成」に加えて、設立10周年を期して「いじめ・児童虐待防止助成」を新設しました。また、応募受付期間中は個別団体からの事前相談に応じました。

応募件数 41件（昨年より11件増）

内訳：一般助成（新規16件・継続4件）／震災支援助成（新規7件・継続2件）

いじめ・児童虐待防止助成10件

【2014年助成選考委員】

委員長：	宮林 雄彦氏	大光院代表役員住職
副委員長：	新井 聡子氏	横浜弁護士会子どもの権利委員会委員
委員：	富樫 匡孝氏	(特非)自立生活サポートセンター・もやいスタッフ
	高取 しづか氏	(特非)JAM ネットワーク代表
	西川 正氏	(特非)ハンズオン埼玉常務理事

【2014年助成説明会】

日時：2013年11月19日(金) 13:30～16:30

場所：かながわ県民活動サポートセンター

参加者：12団体 17名

参加団体内訳：子育て関連／5団体、居場所・地域交流関連／5団体
配食・食事関連／2団体

内容：生き生き市民基金と合同で助成説明会をしました。

2013年神奈川子ども未来ファンド助成事業について

- ・ 応募のための要件
 - ・ 助成が決まるまでと助成を受けてからの流れ、手続き助成団体限定で利用できる運営支援について
 - ・ 事前相談について
- ※終了後に、個別相談会を実施

4-2 2014年助成対象団体の選考と助成

41団体から応募(応募総額22,557,600円)があり、助成選考委員会の選考に基づき、10団体に総額2,875,600円を助成することを決定し、助成を行いました。(2013年度助成団体11団体、助成総額329万円、応募団体28団体、応募総額1,770万円)

- (1) 一般助成／県内で子ども・若者や子育てに関わる人が地域の中で育ちあう「場」を自主的に運営するNPO法人等を対象としています。
- (2) 東日本大震災への特別助成の実施／東日本大震災で被災した子どもたちを支援するため、神奈川県内で拠点をもつNPO等が実施するプログラムに対して助成事業を実施しました。
- (3) いじめ・児童虐待防止への特別助成の新設／特別助成枠を新設し、緊急課題となっているいじめ・児童虐待防止への取り組みに対し助成事業を実施しました。

【2014年助成選考委員会】

日時：2013年2月26日(水)10時～14時

場所：かながわ県民活動サポートセンター コラボスタジオ

【2014年助成対象団体一覧】 助成総額 2,875,600円

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	(特非) 在日外国人教育生活相談センター・信愛塾【継続】	<外国籍の子どもたちへの支援> 日本語を母語としない子どもたちへの「居場所」を生かした母語&日本語学習	横浜	200,000
2	日タイを言葉で結ぶ会 ラック パーサー タイ (RPT)【継続】	<外国籍の子どもたちへの支援> タイにつながりを持つ子ども達のための「母語教室」および「母語を大切にしたい学習サポート教室」開催	横浜	300,000
3	(特非) スマイルオブキッズ【継続】	<患者家族への保育> 病児のきょうだい児預かり保育事業	横浜	400,000
4	(特非) まなの樹	<発達障がい児支援> 発達障がい児の保護者における相談・ヒアリング事業の充実	川崎	300,000
5	(特非) W. Co パレット	<発達障がい児支援> 地域の子育て支援力アップ「育てにくさを感じる」親子への支援	横浜	175,600
6	ママといっしょ!	<子育て支援> 地域の親子が安心して集える安全な場の提供	横浜	400,000
7	とどろき教室・よこはま教室【継続】	<震災支援> 大学生による都会で避難生活を送る東北の子どもたちのための学習支援	横浜	400,000
8	福島の子どもたちとともに、川崎市民の会【継続】	<震災支援> 福島の子どもたちのリフレッシュinかわさき	川崎	300,000
9	(特非) Creative Movement & Dance ゆうゆう	<震災支援> 東北版「あそびのちからはいのちのちから」	相模原	200,000
10	ハッピーのたろんプロジェクト実行委員会 (いじめ・児童虐待防止助成)	<養護施設の児童への支援> 養護施設の子どもたちのための支援事業	横須賀	200,000
			合計	2,875,600

(単位:円)

5. 啓発事業

- (1) 10周年記念事業 朗読劇「ハッピーバースデー」2013横浜公演の開催
子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、昨年引き続き多くの組織のご協力、ご協賛を得て横浜市民文化会館関内ホールに於いて開催しました。
- (2) 講演会や委員会への参加・協力
昨年に引き続き「神奈川県子ども・子育て支援推進協議会」等の会議へ参加するとともに、講師依頼や各種審議会・委員会にも対応しました。

【講師・パネリスト等】

東京城南ロータリークラブ卓話、横浜ロータリークラブ例会、MDRT 講話、神奈川県高等学校教職員組合部長会他。

【各種審議会・委員会】

- バリアフリーの街づくり推進県民会議
- 横浜市ワーク・ライフ・バランス実行委員会委員
- 横浜市ボランティアセンター運営委員 ほか

6. ネットワーク事業

NPO、NPO の推進組織並びに全国の市民ファンド等と連携促進を図るとともに、神奈川子どもファンドの意義や役割の周知に努めました。

7. 調査研究事業

寄付募集事業に資する調査研究事業については、今年度は実施を見合わせました。

8. 広報事業

- (1) NPO データベースの運営
2011年5月、データベース更新チームを立ち上げ、神奈川県内の子ども・若者や子育てを支える NPO を検索できるデータベース「子どもの居場所情報箱（以下「情報箱」）」の更新に努めるとともに、一昨年開設した、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等と NPO の連携促進を目的とする「神奈川の子ども・若者・子育て支援 NPO データベース」の管理・運営に努めました。
 - ◆ データベース「子どもの居場所情報箱」
<http://www.kodomofund.com/search/index.html>
 - ◆ データベース「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」
http://kodomofund.com/search/kensaku_index.htm
- (2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
年2回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを発信しました。また、ブログやツイッター、フェイスブックを活用した日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めました。
 - ◆ メールマガジン 月間+特別号 計13回発行
 - ◆ 広報紙「ハンズtoハンズ」34号(3,000部)・35号(3,500部)を発行
 - ◆ ブログ <http://blog.canpan.info/kodomofund/>
 - ◆ ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>
 - ◆ フェイスブック <https://www.facebook.com/kodomofund>

(3) WEB サイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

昨年度に引き続き、神奈川子ども未来ファンドWEBサイト・携帯モバイルサイト、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの情報交流を目的としたポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」を運営し、子ども・若者や子育ての支援を行うNPOの活動情報、各種非営利イベント情報、NPOを対象とした助成金公募情報などの提供、地域貢献活動に取り組む企業情報の発信に努めました。

(4) イベント・キャンペーンでのPR活動

年間を通じて多くの人が集まる機会に出店や展示に参加し、広く市民や企業、組合等にファンドの認知を高める取り組みをしました。

【展示・広報・出店等での参加】

ア) モトスミ・ブレーメン通り商店街 子どもの日チャリティイベント

開催日程：2013年5月6日(日)

会場：モトスミ・ブレーメン通り商店街(川崎市中原区)

参加内容：綿菓子づくり

主催：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

イ) 児童労働撲滅キャンペーンin神奈川2013

開催日程：2013年6月22日(土)

会場：横浜そごう新都市プラザ(横浜市西区)

参加内容：広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布

主催：NTT労働組合

ウ) フリ・フリ・フリマ(青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動)

開催日程：2013年9月14日(土)

会場：神奈川県立青少年サポートプラザ(横浜市西区)

参加内容：缶バッジづくり、募金活動、活動紹介

主催：同実行委員会

エ) モトスミ・ブレーメン通り商店街 フライマーケット

開催日程：2013年10月6日(日)

会場：モトスミ・ブレーメン通り商店街(川崎市中原区)

参加内容：商店街関係者物品提供によるフリーマーケット・商店街オリジナルストラップ販売、活動紹介、募金活動

主催：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合

協力：モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会

オ) YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL 2012

開催日程：2013年10月6日(日)

会場：赤レンガ倉庫前「象の鼻パーク」(横浜市中区)

参加内容：Song for smileフラッグの作成、ステッカーの販売、子どもや親子の記念写真撮影、活動紹介

主催：YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL実行委員会

カ) ヨコハマWaiWaiフェスタ

開催日程：2013年10月19日(土)

会場：横浜公園(横浜市中区)

参加内容：募金活動

主催：同実行委員会(事務局横浜市労働者福祉協議会)

キ) 第23回ダンボふれあいバザー

開催日程：2013年11月23日(祝)

会場：地域作業所ダンボ周辺(横浜市保土ヶ谷区和田町)

参加内容：ブース運営、募金活動

主催：地域作業所ダンボ・福祉を考える会

ク) 横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ

開催日程：2014年2月8日(土)

会場：マリノスタウン(みなとみらい地区 新高島町)

参加内容：ボウリングミニゲーム、活動紹介、募金活動

主催：横浜マリノス株式会社

※雪のため、2014年6月14日に延期

(6) 広域への情報発信・PR 活動

ラジオ出演 1 件、新聞タウン誌等報道 17 件、イベント等参加 9 件

9. 組織運営、基盤強化に関する取り組み

(1) 通常総会(1回)、理事会(8回)、運営委員会(12回)の開催

神奈川子ども未来ファンドの各種事業の円滑実施のために、通常総会、理事会及び、運営委員会を開催しました。

ア)通常総会

日時：2013年5月14日(木) 19時～20時30分

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：2012年度事業報告、2012年度収支計算書、2013年度事業計画、2013年度収支予算書、2014年助成選考委員について

イ)理事会

①第1回

日時：2013年5月1日(木) 19時～21時

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：2012年助成事業報告案、2012年度事業報告案・決算案、2013年度事業計画案・収支予算案、2014年助成選考委員候補者、2013年度通常総会等。

②第2回

日時：2013年5月14日(月) 20時30分～21時

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：法人を代表する理事について

③第3回

日時：2013年7月23日(木) 19時～21時

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：2012年度事業の進捗状況と認定NPO法人再申請について

④第4回

日時：2013年9月10日(木) 19時～19時30分

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

議題：2014年助成と神奈川子どもファンド今後の方向性について

⑤第5回

日時：2013年10月22日(月) 19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

議題：2013年助成対象団体の決定、2014年助成選考委員について(方針の了承)

2012 年度決算見込及び 2013 年度事業計画案・収支予算案について、2013 年度通常総会、2013 年度助成贈呈式・報告会の開催について

⑥第 6 回

日時：2013 年 12 月 26（木）19 時～19 時 30 分

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

議題：2014 年助成と神奈川子どもファンド今後の方向性について

⑦第 7 回

日時：2014 年 2 月 3 日（木）19 時～19 時 30 分

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

議題：理事の任期・事務局体制と神奈川子どもファンド今後の方向性について

⑧第 8 回

日時：2014 年 3 月 11 日（木）19 時～19 時 30 分

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

議題：神奈川子どもファンド今後の方向性について

ウ)運営委員会（全 12 回）

4/18、5/16、6/20、7/11、8/8、9/12、10/10、11/21、12/19、2014/1/16、2/13、3/13

(1) 若者によるイベントチームの活動

月 1 回の定例会、各種イベント・キャンペーンへの参加、自主的なイベントの企画・運営などを行うことにより、学生を主体とした若者が交流をしながら、若い力を発揮できるような場をつくりました。

主に取り組んだイベント

ア)ブレーメン通り商店街こどもの日キャンペーン

イ)新入会員勧誘キャンペーン

ウ)ヨコハマ・アコースティック・フェスティバル

(2) 若者の社会体験ボランティアの受入れ

ア)若者の社会体験の機会としてのボランティア受入れ（通年）

横浜若者サポートステーションの事業に協力し、若者の社会体験の機会としてボランティアの受入れを行いました。発送作業や資料印刷などの実務作業、イベント出展等の活動への参加を促しました。